

里山工学シンポジウム「これからの里山暮らしを考える」 を開催します

9月16日(土)、本学地域連携機構が主催する里山工学シンポジウム「これからの里山暮らしを考える」を香美キャンパスにて開催いたします。

現在、日本の里山の多くは人口減少により荒廃の一途をたどっています。高知工科大学では、2016年に「里山工学」を立ち上げ、自然環境観測、歴史民俗調査、家屋やインフラの改修などに取り組んできました。里山工学とは、心豊かな社会実現のための工学技術の一つとして位置づけるもので、明るい未来の里山を再構築するための方法論を体系化するものです。



シンポジウムには、天然写真家の前田 博史氏、哺乳動物研究家の谷地森 秀二氏、翻訳家・文筆家の服部 雄一郎氏をお招きし、里山保全の重要性を紹介するとともに、里山工学を旗揚げした本学地域連携機構の高木 方隆教授が里山工学の現状と今後について報告したうえで、参加者の皆様からご意見をいただきます。

開催概要

日時：2023年9月16日(土) 14:00-17:00 (受付・開場13:00)

会場：高知工科大学 香美キャンパス 講堂 (高知県香美市土佐山田町宮ノ口185)

講演内容・講師：

「四国のブナ林」 前田 博史氏 (天然写真家)

「人と獣たち、共存にむけて」 谷地森 秀二氏 (哺乳動物研究家)

「里山から生まれるサスティナブル、リジェネラティブ」 服部 雄一郎氏 (翻訳家・文筆家)

「里山工学の現状と今後」 高木 方隆教授 (高知工科大学 地域連携機構)

定員：先着200名

参加費：無料

申込方法：右のQRコードからお申込ください。詳細は本学ホームページ(EVENTS)を参照ください。

主催：高知工科大学 地域連携機構

後援：高知県、香美市、NHK高知放送局、高知新聞社・RKC高知放送、KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ



明るい未来の里山は、自然・歴史などの地域環境を最大限に生かすべく、人々が学び、協働によって整備し、その恵みを享受できてこそ成立します。継続した活動には、地域の方々との連携やご意見を伺うことが極めて重要だと考え、本シンポジウムを企画しました。

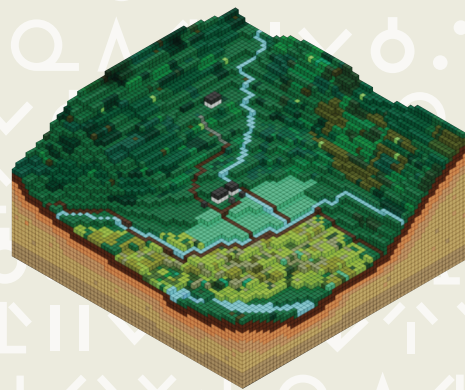
【本イベントに関するお問い合わせ】
高知工科大学 地域連携機構事務局
TEL.0887-57-2743
E-mail :org@ml.kochi-tech.ac.jp

【本リリースに関するお問い合わせ】
高知工科大学 広報課 前田・石川
TEL.0887-53-1080
E-mail :kouhou@ml.kochi-tech.ac.jp

※ 取材をご希望される場合は、9月15日(金)までに、広報課までご連絡ください。

里山工学シンポジウム

これからの 里山暮らしを考える



日時：2023年9月16日（土）14:00 - 17:00 / 13:00（受付・開場）

会場：高知工科大学 香美キャンパス 講堂（高知県香美市土佐山田町宮ノ口185）

主旨 / プログラム

高知工科大学では2016年に「里山工学」を立ち上げ、自然環境観測、歴史民俗調査、家屋やインフラの改修などに取り組み、徐々に成果も出てきました。本シンポジウムでは里山保全の重要性を紹介するとともに、高知工科大学における取り組みを報告します。また、継続した活動には地域の方々との連携が極めて重要なことから、里山工学へのご意見を広く伺いたいと思い、本シンポジウムを企画しました。

14:00 開会あいさつ

14:10 基調講演1 前田博史（天然写真家）

14:45 基調講演2 谷地森秀二（哺乳動物研究家）

15:20 基調講演3 服部雄一郎（翻訳家）

15:50 休憩

16:10 里山工学の現状と今後

高木方隆（高知工科大学 教授）

16:40 ディスカッション

16:55 閉会あいさつ

基調講演 講師



前田 博史

四国のブナ林



谷地森 秀二

人と獣たち、共存にむけて



撮影：宇城吉二

服部 雄一郎

里山から生まれる
サステナブル、リジェネラティブ

会場 / 駐車場地図



参加申込と問合せ



参加申込とお問い合わせについて

左のQRコード先のWEBサイトに入力フォームを用意しております。お手持ちのスマートフォンかPCから登録をお願い致します。参加費無料 / 先着200名

主 催：高知工科大学 地域連携機構（事務室電話番号：0887-57-2743）

後 援：高知県、香美市、NHK 高知放送局、高知新聞社・RKC 高知放送、KUTV テレビ高知、KSS さんさんテレビ

